

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月17日朝刊

富士市の須津中は15日、タブレット端末を使って、本年度後期生徒会選挙の電子投票を初めて実施した。1人1台配備された端末を有効活用し、従来の記名式投票用紙を廃止。20人で1時間ほどかかっていた集計の省力化と数え間違い防止を目指した。

生徒は、学習支援アプリのアンケート機能を使い、同校の選挙管理委員会から投票フォームを受信。候補者名や信任、不信任の欄をタップして投票先を選択し、同委員会に送信した。おおむね順調に投票や集計が進んだが、送信作業での操作ミスなど一部で無効票や、紙での再投票が生じた。生徒会担当の藤島秀平教諭は「生徒に電子投票に対する戸惑いは無かった。操作方法を徹底したい」と話した。

候補者の演説にも端末を活用した。各候補者が公約などをスライドにまとめ、図やアニメーションを駆使して有権者に主張を訴え

富士・須津中

生徒会選挙で電子投票

①この電子投票には、タブレット端末のどんな機能を活用したのか。

②この電子投票では、どんな効果を期待したのか。

タブレット活用、演説にも



タブレットに表示された候補者に投票する生徒
＝富士市の須津中（写真の一部を加工しています）

た。生徒会長候補の2年新井耀太郎さん(13)は「難しい言葉の解説をスライドで示したり、要点を強調した。言葉だけの演説より伝わった」と満足げに話した。

富士市教育委員会によると、市内では小テストの正答率の分析や英語のスピーチ動画の課題提出など授業でのタブレット端末活用が進むが、学校行事での活用は珍しいという。（富士支局・国本啓志郎）

③この電子投票での課題は何か。

④候補者の演説にタブレット端末を活用した場合の利点は何か。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校～高校、教員／社会、特別活動、総合）

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月17日朝刊

富士市の須津中は15日、タブレット端末を使って、本年度後期生徒会選挙の電子投票を初めて実施した。1人1台配備された端末を有効活用し、従来の記名式投票用紙を廃止。20人で1時間ほどかかっていた集計の省力化と数え間違い防止を目指した。

生徒は、学習支援アプリのアンケート機能を使い、同校の選挙管理委員会から投票フォームを受信。候補者名や信任、不信任の欄をタップして投票先を選択し、同委員会に送信した。おむね順調に投票や集計が進んだが、送信作業での操作ミスなど一部で無効票や、紙での再投票が生じた。生徒会担当の藤島秀平教諭は「生徒に電子投票に対する戸惑いは無かった。操作方法を徹底したい」と話した。

候補者の演説にも端末を活用した。各候補者が公約などをスライドにまとめ、図やアニメーションを駆使して有権者に主張を訴え

富士・須津中

生徒会選挙で電子投票

①この電子投票には、タブレット端末のどんな機能を活用したのか。

学習支援アプリのアンケート機能

②この電子投票では、どんな効果を期待したのか。

(20人で1時間ほどかかっていた)集計の省力化と数え間違い防止

タブレット活用、演説にも



タブレットに表示された候補者に投票する生徒
＝富士市の須津中（写真の一部を加工しています）

た。生徒会長候補の2年新井耀太郎さん(13)は「難しい言葉の解説をスライドで示したり、要点を強調したりした。言葉だけの演説より伝わった」と満げに話した。

富士市教育委員会によると、市内では小テストの正答率の分析や英語のスピーチ動画の課題提出など授業でのタブレット端末活用が進むが、学校行事での活用は珍しいという。(富士支局・国本啓志郎)

③この電子投票での課題は何か。

送信作業での操作ミスなど一部で無効票や、紙での再投票が生じたこと。

④候補者の演説にタブレット端末を活用した場合の利点は何か。

(例)公約などをスライドにまとめ、図やアニメーションを駆使して有権者に主張を訴えることができる。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校、教員/社会、特別活動、総合)